

創造主の威厳・栄光と神殿における神礼拝

この詩にもタイトルというか最初の説明書きがない。このような形が97編まで続く。詩は「主こそ王」で始まるが原語のヘブライ語では Yahweh mālāk (Yahweh reigns 主は支配される)である。この動詞の名詞形メレクは王を意味し、サレムの祭司王メレキゼデク（義の王）の名を思い出させる（創世記 14:18）。また、ヤハウエは「支配する」Yahweh reigns はハレルヤ・コーラスの The king of kings, Lord of lords, He shall reign forever のフレーズや新生 291 Duke Street の曲に乗せた Isac Watts の Jesus shall reign を思い出させる。新生讃美歌 291 は松見が翻訳したものではあるが、「主イエスの支配は」という日本語がどうも座りがわるいと思った。たぶん、政治家への不信が強く「支配」という日本語の持つマイナスのイメージが強いのかもかもしれない。しかし、ほかでもない主イエスが愛と義をもって世界を支配されていることを力強く歌いたいものである！

同じようなことは「威厳」をもって衣とするにも言えようか？Majesty というトヨタの自動車もあるが、「威厳」という日本語も単に威張っているのではなく、この言葉が表す本来の内容理解が難しい。まあ、Yahweh は力（'ōz）をもって衣とするはまだ素直に入ってくるが、モルトマンのように無力な力（Macht ohne Macht）などを言わねばならないほど、キリスト教会は威厳と力を誇示してはこなかったであろうか？ヘブライ語聖書の伝統では、神がメシアを通して世界を支配されるという伝統と神自身が世界を王として支配されるという2つの流れがある。それらが時代によって織り合わされた希望となってきた。神の支配、威厳について黙想してみよう。

1. 1節後半

彼（Yahweh）は力で鎧を着るようにご自身を力で防御するというもの興味深い表現である。白人が米国に侵入しインディアンを搾取したとき、白人が騎士のように鎧兜を着ていたので、「鉄人」（iron men）と言われたそうである。Yahweh あるいは Jesus reigns なら良いが代理人としての信仰者自身が威厳と力をもって支配するのは別の話であろう。神も人も本来の威厳（義と愛）をもって生きるべきなのだろう。

2. 創造の秩序とその保持

「世界は固く据えられ、決して揺らぐことはない」。ここから動詞は未完了形になる。世界は確固たるものとして確立され、現在も保持され、揺らぐことはできない。確かに一方で「大地は混沌トーフヴェボーファー」とし、空には光がなかった」（エレミヤ 4:23）という実際があり、他方、その中で神は天地を創造され、保持されている。創世記 1：2、混沌（ヨーファーヴェボーファー）の中から「神は言われた。『光あれ。』こうして、光があった。ダイナミックなことである！

3. 「み座はいにしえより固く据えられ、あなたはとこしえの昔からいます。」

主なる神に向かって、あなたの「み座」は、大過去の昔より固く据えられたと歌い、「あなた」と神に呼びかけ、動詞なしで、「とこしえに」と告白されている。神は時空の中で具体的に働かれると共に、時空を超えた創造者である。世界が人の罪深さによっていかに動揺しようとも、神の創造秩序を逆転することは決してできない。神の国（支配）は終末時に完成し、神はかつていまし、今おられ、やがて来たり給うお方であることが十全に立証される。

4. 海を制御する神

地中海から進んだ文化を持つ人々がパレスチナに侵入してきたがゆえに海はイスラエルにとっては脅威の対象であった。また、バビロニア神話の海の影響もあったであろう。実際洪水、津波などで経験するように、海面が「立ち上がり」とはまさに、海水の力は強大である。3節では「潮」が語られている。これは潮流という以上に「渴いた地に押し寄せる洪水」であろう。また、海に行けば分かるように波は大きな響きをもって押し寄せて来る。その轟音はイスラエルを恐れさせるが、それ以上に、主なる神は、それを遙かに凌ぐ力をもって海の境界を保持される。エルサレム神殿の「海」（ソロモン神殿の庭の青銅製の洗盤「海」）が何を象徴するか諸説あるが、神が海を制御している象徴なのかも知れない。黙示録 21:1 によれば新しい天と地には「海」はなくなっている。

主なる神は、潮や波を超えて「力強く、高くにいます主」（4節）である。

5. 神殿礼拝（世界）に内在される主なる神

突然というか天地創造の神は神殿に（内在することに）目が向けられる。神殿は神に向けられる「尊厳」に相応しく、日の続く限り賛美されるという。あるいはここではあるから「神殿」というより「あなたの家々」であり、地上の在り様全般が神が住まう処であり、確かであると言っているのかも知れない。Yahwehはこの代から常世にいたるまで聖で飾られているということで、単に神殿でなく、全世界の創造のみ業が意味されているのかも知れない。「あなたの定め」は規律というより証言？ 確証であろうか。

ともかく、創造の神の威光を謳う歌である。